

製造業における先進事例（自社で行う取組）

▶ 省エネ・節電設備の導入

・デマンドコントローラー（電力監視装置）

使用電力の上限を設けて、使用量が上限に近づいた際に警報ブザー等による注意喚起を行う制御装置を導入することを検討している。

・自家発電設備

代替電源としての自家発電を緊急時以外についても利用することを検討している。



＜デマンドコントローラー＞

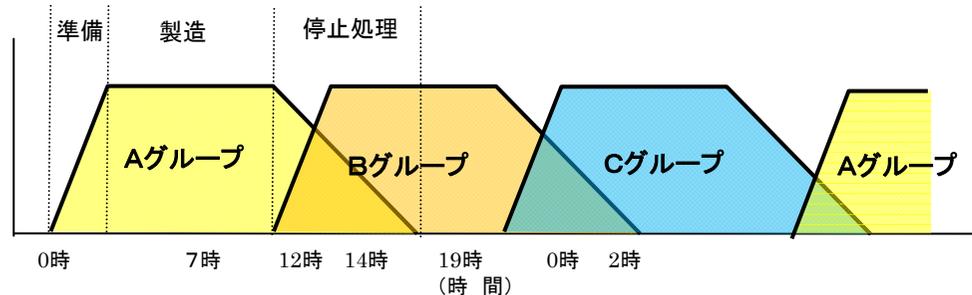


＜発電機＞

製造業における先進事例(複数社で共同して行う取組①)

➤ 作業時間・営業時間の調整・シフト

- ・連続した作業時間を確保する必要がある業種や、設備数が少なく自社だけでは電力需要を抑制することができない業種において、業界の各社を数グループに分け、各グループで、1日のうちの作業時間をずらしながら設備を稼働させることを検討している。



➤ 作業日・営業日の調整・シフト

- 同業社その他で複数社が集まり、グループを設定。稼働日数を通常と変えずに、各グループが時期をずらしながら休業することを検討している。

		月	火	水	木	金	土	日	月	...
グループ1	A社	休業						休業		...
	B社									
	C社									
グループ2	D社			休業						...
	E社									
	F社									
グループ3	G社					休業				...
	H社									
	I社									

製造業における先進事例(複数社で共同して行う取組②)

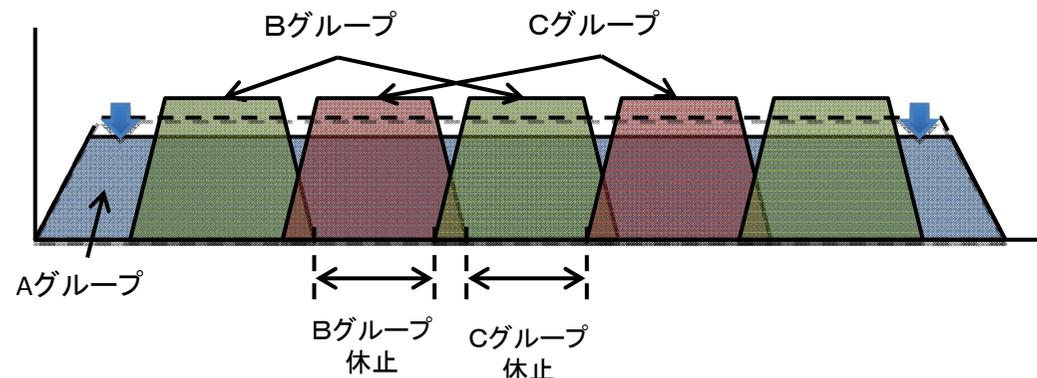
夏期休業の設定・長期化・分散化

同業社その他で複数社が集まり、グループを設定。例年と同程度の夏期休業を行いつつ、各グループで夏期休業の時期を設定することを検討している。

		7月			8月			9月		
グループ1	A社 B社	休暇								
グループ2	C社 D社									
グループ3	E社 F社									
グループ4	G社 H社									
グループ5	I社 J社									
グループ6	K社 L社									

電力使用形態が異なる事業者の連携した取組み

連続した長時間の作業時間を必要とする者(A社)と操業・営業時間を調整することが可能な関係会社(B・C社)が連携。A社単独で可能な限りの削減を行った上で、B・C社による操業・営業時間の調整により、全体で最大使用電力を削減することを検討している。



オフィス・商業における先進事例(自社で行う取組①)

▶ 省エネ・節電設備の導入

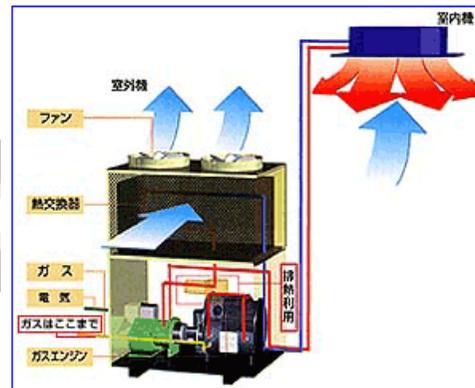
- ・照明器具をLEDや高効率蛍光灯に取り替えることを検討している。
- ・BEMS(ビル・エネルギー・マネジメント・システム)を導入し、空調設備等の総合効率の向上を図ることを検討している。
- ・ガス空調機を導入する、もしくは電気式メインからガス式メインに空調の運転比率を変更することを検討している。



<電球型蛍光ランプ>



<直管形LEDランプ>



<ガス空調機>



<BEMSの制御画面>

▶ 執務室の集約

エリアに分けて部分空調が可能なビルについては、執務室を集約し、これに合わせた空調を行うことで照明及び冷房負荷の低減を図っている。



オフィス・商業における先進事例（複数社で共同して行う取組）

- 作業時間・営業時間の調整・シフト（再掲）
- 作業日・営業日の調整・シフト（再掲）
- 夏期休業の設定・長期化・分散化（再掲）
- 電力使用形態が異なる事業者の連携した取組（再掲）

- ビルテナントの営業時間／営業日のシフトや一斉休業
 - ・ビル内の個々のテナントの営業時間／営業日のシフトを行い、電力使用量のピークをずらすことを検討している。
 - ・オーナーとテナントが協調して、ビル全体の休業日の設定を検討している。
 - ・近隣のビルが共同してビル毎に輪番で休業日を設定することを検討している。

➤ 商店街の対策

商店街の街路灯、店頭の新オンサイン、店内照明、アーケード内の照明の大幅消灯やBGMの停止を行う。

